

観光

流れが穏やかな秋川の中流・下流域には多くのバーベキュー場があります。自然を満喫できる環境に恵まれた場所や駅近の場所、レンタルで手軽に楽しめる施設もあるので、好みに応じて選べます。

秋川橋河川公園バーベキューランド

☎ 042-596-5122 あきる野市留原 813

秋川ふれあいランド

☎ 042-550-4989 あきる野市小川 1343-101

リバーサイドパークの谷

☎ 042-550-3789 あきる野市引田 776



市の6割を森林が占め、多摩川最大の支流である秋川が流れる、あきる野市には、多くの観光資源があります。特に夏の秋川渓谷は水遊びの宝庫。東京サマーランドやバーベキュー場などに多くの観光客が訪れます。



東京サマーランド

☎ 042-558-6511 あきる野市上代継 600

東京サマーランドは、4つのエリアからなる老若男女が楽しめるレジャー施設です。季節や天候を問わずプールが楽しめる「アドベンチャードーム(屋内)」、日本最大級の流れるプールなどがある「アドベンチャーラグーン(屋外)」、みんなで遊べる遊園地「ファンファンタウン」、スリルと冒険が詰まったプールとアトラクションがある「ワイルドマウンテン」があります。



秋川国際マス釣場

☎ 042-596-0568 あきる野市養沢 1311

有料のニジマス釣場としては日本でも草分け的存在で、のんびりと竿をたらしながらマス釣りができます。釣った魚はお土産にも。レンタルハウスでは焼魚定食を楽しめます。釣竿やエサ、バーベキュー用具のレンタルもあるので、手ぶらで行ってもOK。1日たっぷり遊べます。



秋川溪谷のシンボル

石舟橋

あきる野市乙津

檜原街道の十里木バス停から「秋川溪谷瀬音の湯」へと続く歩行者専用の吊橋。

長さ 96m の橋は緩やかに湾曲しており、橋の上からは秋川の溪谷美を楽しむことができます。

市を代表する樹木をめぐる



光厳寺のヤマザクラ

あきる野市戸倉 328

足利尊氏が創建したこの寺院にあるヤマザクラは、東京都最大といわれ、都の天然記念物にも指定されています。樹齢 400 年を誇る大桜が満開の花を咲かせ、訪れる人の目を楽しませてくれます。見ごろは 4 月上旬～下旬です。



山抱きの大榎

あきる野市深沢

樹齢 300 年以上といわれる榎の大木（ウラジロガシ）。太い枝を空に広げ、大きな石灰岩の上に力強く根を張った生命力あふれる姿は、一見の価値があります。



五柱神社のスギ

あきる野市養沢

五柱神社の境内にある杉は、市の天然記念物に指定されています。樹齢 400 年の杉の幹周りは東京都一と言われており、周りの山々や集落からも捧める地域のシンボルとして、大切にされています。

旅の拠点となる施設



秋川溪谷瀬音の湯

☎ 042-595-2614 あきる野市乙津 565

アルカリ性の強い温泉は「美肌の湯」としてリピーターも多く、敷地内にはレストランや宿泊可能なコテージなどもあり 1 日楽しめます。



フレア五日市

☎ 042-588-4200 あきる野市館谷台 26-1

令和 7 年 7 月、秋川流域の玄関口である武蔵五日市駅前にオープンした新施設。秋川溪谷へ訪れる方のおもてなしとしてラウンジや更衣室を併設しているほか、移住定住の相談室も設けています。イベントやコンサート、企業研修など幅広くご利用いただけます。



戸倉しろやまテラス

☎ 042-595-1234 あきる野市戸倉 325

旧戸倉小学校校舎を活用した「体験」「宿泊」「飲食」「展示」の機能を持つ滞在型観光施設です。レストラン「食飲室」では、地産食材を使ったメニューや昔懐かしい給食プレートをお楽しみいただけます。



お祭り

あきる野
夏まつり



8月に秋川駅北口駅前大通りで開催される、あきる野の夏の風物詩「あきる野夏まつり」、そして歴史と伝統のある五日市の夏の夜を彩る「ヨルイチ」に続いて、9月にはあきる野市内各地区でお祭りが行われます。その中でも二宮神社、正一位岩走神社、そして阿伎留神社で催されるお祭りは「あきる野三大まつり」として知られています。

ヨルイチ



あきる野三大まつり

あきる野市の三大まつりは、それぞれの神社に伝わる歴史や信仰、そして地域住民の生活様式を物語っています。祭りを通して、世代を超えて受け継がれてきた伝統文化に触れ、地域住民同士の繋がりを深め、活気あるあきる野市の魅力を再認識することができます。



二宮神社しょうがまつり (9月8日・9日)

二宮神社は、武州六大明神の一つに数えられる武蔵野国二の宮とされています。毎年、9月9日の秋季例大祭では、古くから、神饌の中に「牛の舌の形の餅」「子持ちの里芋」、そして「葉根付き生姜」を加えることになっています。二宮周辺で採れた生姜を例大祭にお供えたことから、いつの間にか「二宮神社の生姜を食べると風邪をひかない」「1年間無病息災、厄除になる」と言われるようになったとされています。露店が並び女坂には、葉根付き生姜の束を山積みにした「ショウガ市」が立ち、賑わいをみせます。



正一位岩走神社例大祭 (9月中旬)

岩走神社は、平安時代に信州伊那郡の石工がこの辺りに移り住んで開いたと言われています。寛政6(1794)年に正一位の神階を許され、その後200年以上にわたり、祭りの伝統が、住民たちに脈々と受け継がれています。祭り当日は、五日市街道を13基の神輿と6台の山車が練り歩き、祭り半纏を着た老若男女の威勢の良い掛け声が響きます。また、街道沿道には万灯が立ち並び、多くの人で賑わいます。



阿伎留神社例大祭 (9月28日・29日・30日)

阿伎留神社は、「延喜式神名帳」の中で武蔵国多摩郡八座の筆頭に記載される古社です。例大祭は、全国でも珍しい百貫(約375kg)を超える六角神輿が町内を練り歩く迫力のお祭りです。毎年、9月28日・29日・30日に執り行われ、檜原街道沿いには露店が立ち並び、多くの見物客で賑わいます。また、神輿渡御の安全と無事を願い、五日市入野の獅子舞も奉納されます。

Event calendar

6月 秋川溪谷あじさいまつり 8月 あきる野夏まつり/ヨルイチ 9月 あきる野三大まつり

11月 産業祭 1月 二十歳を祝う会/どんど焼き/武蔵五日市七福神 2月 節分祭・節分会/秋川溪谷雛めぐり



秋川溪谷あじさいまつり



武蔵五日市七福神



秋川溪谷雛めぐり

芸能・文化



あきる野市内には、囃子・獅子舞・神楽など様々な郷土芸能が数多く継承されています。また、秋川歌舞伎保存会と菅生歌舞伎菅生一座によって農村歌舞伎が継承されており、共に東京都の無形民俗文化財に指定されています。そして、あきる野市は、私擬憲法「五日市憲法草案」が生まれ、軍道紙の歴史が息づく地でもあります。

秋川歌舞伎

明治の中頃に二宮神社の神楽師が祭礼の余興芸として始めたのが起源です。古谷・栗沢の二座が競合して大正時代に全盛を極めました。現在の保存会は平成4年に発足し、栗沢一座から受け継いだ芸を伝承し、二宮神社の秋の祭礼をはじめ、市内外で公演を行っています。東京都無形民俗文化財に指定されています。



菅生歌舞伎

栗沢一座の指導を受けた菅生地区の青年たちが、昭和10年に初公演を行ったのが始まりです。現在、菅生歌舞伎菅生一座によって伝承され、地元正勝神社の秋の祭礼などで「菅生の組立舞台」の上で奉納公演が行われます。東京都無形民俗文化財に指定されています。



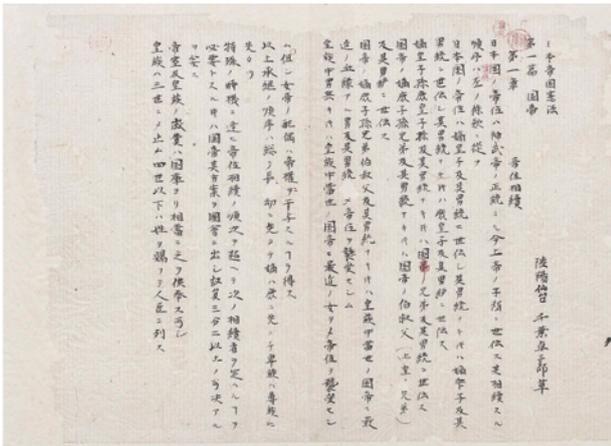
菅生の組立舞台

菅生地区には、明治42年に造られた組立式の舞台が残されています。回り舞台や花道を備えた地芝居用の本格的な舞台で、菅生組立舞台保存会によって保存伝承されています。地元正勝神社の祭礼で隔年で組み立てられ、菅生歌舞伎が上演されます。八間舞台と五間舞台があり、東京都有形民俗文化財に指定されています。



囃子、獅子舞、神楽、棒使い

あきる野市は、市内各地域で多くの芸能（囃子・獅子舞・神楽・棒使いなど）が受け継がれています。これらの芸能は各地域の祭礼や夏まつり・市内のイベント等で披露されています。保存団体の一部は、あきる野市無形民俗文化財に指定されています。



五日市憲法草案

五日市憲法草案は、昭和 43 (1968) 年にあきる野市 (当時五日市町) 深沢にある深沢家屋敷跡の土蔵の中から発見された私擬憲法 (民間有志による私案の憲法) です。五日市憲法草案は、明治 14 (1881) 年に作られたと考えられています。全部で 204 の条文があり、当時作られた私擬憲法の中でも、非常に条文が多いことが特徴の一つです。また、国民の権利に関わる内容を多数盛り込んだ草案であり、現在の憲法にも相通する点があるのも特徴です。



深澤権八

文久元 (1861) 年、深沢村 (現在のあきる野市深沢) 生まれ。15 歳で村用掛 (村長) を勤め、19 歳で五日市学芸懇談会の幹事となるなど、秋川谷の自由民権運動の若き指導者であり、千葉卓三郎の最大の理解者・後援者だった。



千葉卓三郎

嘉永 5 (1852) 年、宮城県栗原郡白幡村 (現在の宮城県栗原市) 生まれ。明治 13 (1880) 年に五日市勸能学校の教員となり、自由民権運動に積極的に参加、五日市憲法草案を起草。



深沢家屋敷跡

五日市郷土館



利用のご案内

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
休館日 月曜日 (祝日の場合は翌日)
年末年始 (12 月 27 日～1 月 4 日)
☎ 042-596-4069 あきる野市五日市 920-1

あきる野ふるさと工房

利用のご案内

開館時間 午前 10 時～午後 6 時 (体験の受付は午後 3 時まで)
休館日 年末年始、4 月～9 月：火曜日・水曜日、10 月～3 月：土曜日・日曜日
※その他、臨時休業もあります。
☎ 042-596-6000 あきる野市乙津 671



軍道紙

あきる野ふるさと工房で行われている軍道紙の作製は、あきる野市乙津地区に伝わる伝統的な製紙技術を受け継いだものです。江戸時代初期にこの地域で生産され始めた軍道紙は、素朴で丈夫な紙として庶民生活に広く使われていました。原料には楮 (こうぞ) が使われ、手作業で丁寧に漉きあげられます。工房では、伝統的な製法を守りながら、現代の技術を取り入れた軍道紙作りを体験できます。軍道紙の歴史を知ること、あきる野市の豊かな文化と伝統を感じることができます。

特産品 ・ 名産品

あきる野の風土が生んだ特産品・名産品を紹介します。この他にも、あきる野の豊かな土地で新たな商品が日々生まれています。市内を巡って、見つけてみてください。



鮎

秋川の清流に躍る鮎は美味な上、身もしまっていて、江戸時代には將軍家の御用達として代官所の役人が形の良い鮎だけを1,000匹ほど選んで江戸へ急いで送らせてたとも言われています。鮎を使った料理は、市内の食事処に行けば味わうことができます。



とうもろこし

あきる野産のものは甘みが強く、粒が大きいのが特徴です。種類も豊富で、採れたての食べ比べもおすすめ。6～7月に収穫期をむかえ、ファーマーズセンターなどで販売しています。



秋川牛

秋川牛は、松阪牛や米沢牛と同じ元牛である黒毛和牛をあきる野市内の牧場で丹念に育てた東京都産の高級和牛です。

メンチカツも人気です!



のらぼう菜

江戸時代に五日市周辺で栽培が広まり、天明・天保の飢饉の際には、この菜花のお陰でこの地域が救われたといわれています。今では春の訪れを告げる特産の地野菜として知られています。2～4月に収穫期をむかえ、ファーマーズセンターなどで販売しています。

だんべえ汁

醤油と酒で味付けされた甘めの出汁に、肉、野菜、こんにやく等が入っただんべえ汁。地元の方言「だんべえ」から名付けられた、心も体も温まる逸品です。

日本山岳耐久レースでも提供されるB級グルメだよ!



日本酒

水に恵まれたあきる野市には、古くに創業した2軒の造り酒屋があります。仕込み水には、秋川溪谷の山々に磨かれた湧き水を使い、じっくり醸造された地酒は、地元以外では手に入りにくいので、是非お土産にどうぞ。



かの黒澤明が買いに訪れたという噂も...

こんにやく

秋川の水と吟味されたこんにやく芋を使った風味豊かな手作りこんにやくです。料理の主役になる種類豊富なこんにやくを作っています。



おやき

秋川溪谷を代表する食べ歩きスイーツ。古くから伝わる素朴な味わいは絶品。一枚一枚丁寧に作られたおやきを散策の途中にいかがでしょうか。



駅のホームや子ども用家具などでも使われているよ。



多摩産材

あきる野は江戸時代から林業が盛んで、秋川から多摩川を経て江戸市中まで木材を送り出していました。現在でもあきる野の豊富な森林資源は東京都が認める多摩産材として、治山や建築などに使われています。

醤油

五日市街道沿いには100年あまり続く都内でも希少な醤油醸造元があり、昔ながらの味わいを持つ無添加醤油を造り続けています。



映画「五田物語」にタルを使っの醤油造りのシーンがあるね。

名産品販売所

Shop Introduction



いろどり屋
あきる野市秋川 1-8
☎ 042-550-4552



秋川ファーマーズセンター
あきる野市二宮 811
☎ 042-559-1600



五日市ファーマーズセンター「あいな」
あきる野市高尾 3-1
☎ 042-596-1280



秋川溪谷瀬音の湯物産販売所「朝露」
あきる野市乙津 565
☎ 042-595-2614